

# 総合患者支援センターニュース

〒700-8558

岡山市鹿田町2丁目5番1号  
岡山大学医学部・歯学部附属病院  
総合患者支援センター

☎ 086-223-7151 (代表)

☎ 086-235-7744 (直通)



Integrated Support Center for Patients and Self-learning

Okayama University Hospital



## 創刊に寄せて

総合患者支援センター長 公文 裕巳

「私たちは患者様に最良の医療とケアを提供するために活動します」を合言葉として、総合患者支援センターは昨年4月に産声をあげました。

院内、学内の各部門からの有志、ならびに、職能および一般病院ボランティアをはじめ多くの方々に支えられつつ、患者様の大きな支えになる機能的な組織作りを目指しています。

西病棟1階を中心とする活動拠点の一次整備が今年の10月に完了、本年4月からのセンタースタッフの陣容も決まりました。そこで、センターニュースを発行し、患者様とご家族に活動内容を定期的にお知らせするとともに、関連する方々にも広く認知を頂いて、ご要望やご協力を頂きたいと考えました。

今回は、創刊号として、患者図書室や現在行っている医療・看護・福祉を中心とする各種の相談事業をセンターマップとともに紹介させていただきます。外来、入院中の患者様はもとより、ご家族の方々や地域の皆様もお気軽にご利用下さい。

相談業務のほかに、患者様の療養支援やQOL(生活の質)向上を目的として、課題毎に多職種のスタッフで構成する専門チームによる活動も開始しています。院内、学内はもとより地域での医療・介護・福祉に携わっている方々との広範な連携を目指し、入院から退院、退院後の医療とケアを継続的に行えるような支援体制を構築していきたいと考えています。これらの事業については、次号からのセンターニュースで紹介させていただきますので、皆様からのご意見、ご要望をお待ち致しております。



### \* センタースタッフ \*

公文	裕巳 (医師)	センター長
下村	宏之 (医師)	副センター長
前川	珠木	看護師長
奥野	伸枝	副看護師長
石橋	京子	医療ソーシャルワーカー
塚田	和子	医療ソーシャルワーカー
高柳	勝	事務専門職員

患者様に、幅広いサービスを継続的に受けて頂けるよう、患者様の視点に立って支援します。



お問い合わせは  
**総合患者支援センター**  
 ☎086-235-7744  
 e-mail sienc@hp.okayama-u.ac.jp

**医療・看護・福祉相談室**

- ・治療が不安
- ・医療費や生活費が心配
- ・自宅での療養の仕方や介護の方法を知りたい
- ・退院後の生活が心配
- ・福祉の制度を知りたい

入院中や退院後の医療や看護、福祉についての心配ごとがあれば、お気軽にご相談ください。

月曜～金曜 10時～17時

**場所：**  
**西病棟 1階**

外来棟  
 玄関  
 ↑

↓  
 南病棟

- 多目的学習室 各種相談室を開いています。
- ・**摂食・嚥下相談**：食べ方や飲み込みの心配ごとのご相談  
 毎週月曜日 9時～16時 予約☎ 086-235-7744
- ・**口腔衛生ケア相談**：お口のケアに関するご相談  
 予約☎ 086-235-7744
- ・**女性医師による女性のための健康相談**：病気、治療について男性医師に聞きにくいご相談  
 毎週火曜日 9時～16時 予約☎ 086-235-7744
- ・**痛みの相談室**：生活に不都合を生じるあらゆる痛みに関するご相談  
 毎週木曜日 15時～17時(予約不要)  
 電話相談も可 ☎ 086-235-7844
- ・**病気のお子様の育児やご家族の相談室**：  
 第1・3木曜日 13時～15時(予約不要)  
 第2・4木曜日13時～15時の間は電話相談 ☎ 086-235-6860  
 (担当：保健学科 太田にわ研究室)
- ・**母乳相談**：母乳育児相談、おっぱいケア  
 毎週金曜日 14時～16時 予約☎ 086-235-6848  
 (担当：保健学科 大井伸子研究室)



**地域遠隔医療支援室**  
 遠隔地の医療機関と情報ネットワークを通じて連携し、地域医療を支援します。患者様の自己学習用視聴覚教材を作成するための機材も備えています。

**多目的学習室**  
**オストメイトサロン：**  
 ストーマを装着した人(オストメイト)、又はこれから手術を受ける人などが、互いに情報交換が行える交流スペースです。  
 第1木曜日 10時～15時

**自己管理学習室**  
 ストーマ手術を受けた患者様が、ストーマの手入れを自分で行えるよう、設備を整えたトイレです。専門の看護師やオストメイトボランティアが指導します。

**不妊・不育とこころの相談室**  
 不妊(妊娠しない)・不育(妊娠はしても子供が育たない)、将来の妊娠が不安、思春期の種々の問題の相談など、ご夫婦でも恋人同士でも、お一人でもお子様づれでも、お気軽にお越しください。  
 毎週水・金曜 13時～17時  
 予約☎ 086-235-6542

**電話相談**

- ・**女性の尿もれ電話相談**：毎週木曜日 9時～12時  
 ☎086-223-7151
- ・**遺伝相談**：毎週月曜日 14時～16時  
 ☎086-223-7151

**患者図書室**  
 患者様やご家族が本・ビデオを閲覧したり、インターネットの利用ができます。病気について知りたい時、読書で気分転換を図りたい時、ご利用ください。  
 開館日 月・水・金曜日  
 13時～15時

# ～支援の窓から～

シリーズ  
大和 豊子 (医師)

## 女性健康相談をご利用になりませんか？

- 「女性医師による女性のための健康相談」は、
- 1. 病気かどうか、外来受診する方が良いのか、様子を見ていたら良いのか聞きたい。
- 2. 主治医の説明が十分理解できないので、噛み砕いて説明してほしい。
- 3. 主治医の説明が納得できないので、セカンドオピニオンを希望する。
- 4. 医療機関を紹介してほしい。

こんな皆様の意思にお答えしたいと、我々スタッフは考えています。

- ・大和 豊子 (医師) 泌尿器科全般
- 高橋 理子 (医師) 産婦人科全般
- 合田 典子 (保健学科) 出産前後の周産期
- 青井 美由紀 (創傷・オストミー・失禁看護認定看護師) 創傷処置、ストーマケア
- 奥野 伸枝 (看護師) 骨盤底筋体操

専門以外のご相談を受けたい時は、バックアップネットワークを通じて得た知識を皆様に還元します。

外来ではなく相談ですので、治療は行いません。「カトリアルーム」と名付けて、気軽に来て頂けるようにしたいと思っています。

カトリアルームのご予約: 086-235-7744

(平日9時～5時受付)

ご相談時間: 毎週火曜日 午前9時～11時  
午後2時～4時

～支援の窓から～では、各相談室の専門スタッフによる記事をシリーズで掲載していきます。

§ 編集後記 §

「総合患者支援センターニュース」、記念すべき創刊号です。センターの大切なことを、皆さんにもっと知ってもらい、必要ならサポートを受けて頂けるよう発信していきたいと思っております。病気になる前に不安・心配等があれば、お気軽に相談室のドアをノックしてくださいね。(K・T)

今年の一月にオープンした「オストメイトサロン」。人工肛門・人工膀胱(ストーマ)を装着している方々が相談し合い情報交換などを行える交流の場です。サロンを運営しているのは、先輩オストメイトであるボランティアの方々。

ストーマの悩み、一人で抱えないでオストメイトサロンへ

参加されるオストメイトは、外来、入院中の患者様の他、口コミで他県から参加される方など様々です。参加人数は徐々に増え、7月は9名の参加者が和気あいあいとした雰囲気でもございました。

サロンを通して仲間づくりのきっかけとなり、ストーマと付き合っていく上での大きな励みとなるのではないのでしょうか。オストメイトの皆さん、気軽に参加してみてくださいね。



「サロンがある日待ち遠しくて、カレンダーにマルを付けてます。」という声も・・・

## 総合患者支援センターのロゴマークって？

岡山大学の「O」と「U」を組み合わせました。

心 (heart) からの支援  
ピンク色 = 暖かさ・幸福

差し伸べる手 (support) 技術 (hand, skill)  
青色 = 岡山大学のロゴの色  
大学総体の理知・理想



製作者・・・岡山大学医学部保健学科  
太田武夫氏 (前学科長) と中村隆夫氏の共同作品